

令和4年9月28日

ぞう組保護者の皆様

墨田区立八広幼稚園

園長 金澤 里美

産官学連携幼児教育プログラム実証実験導入のご案内

日頃より本園の教育活動にご理解・ご協力いただきありがとうございます。夏休みが明けてからはや1ヶ月が経とうとしており、ぞう組の子供たちは、友達と思いを伝え合いながら様々な遊びを進める姿が見られます。さて、八広幼稚園では、この度、千葉大学教育学部の幼児数学教育研究者の松尾七重教授と、松尾教授と株式会社プレイシップが共同研究で開発した図形教育プログラムの実証実験を試験的に導入することになりました。下記のとおり行いますのでご協力よろしくお願いいたします。

記

- 1 期間 令和4年10月中旬～12月下旬（予定）
- 2 対象 ぞう組園児
- 3 内容 「カタチパズル」を使って子供たちが遊ぶ様子や作品の観察、写真撮影等
※観察、写真撮影は園の教職員が行います
- 4 実証実験について（開発者より）

松尾七重教授は、日本における幼児数学教育研究の第一人者であり、数少ない研究者として、教育プログラムの開発や、保育者の指導を進めております。

今回試験導入する図形教育プログラムは、教科書で学ぶような「勉強」ではなく、パズルを使って子供たちが楽しく遊ぶ中で、知的好奇心が育まれるよう開発されました。幼児のうちから適切な教育プログラムを受けることで、その効果があることがこれまでも実証されています。今回プログラムを導入し、幼児のうちから楽しく、自然に取り組むことで、大人になってからも使える「算数の思考力」を身に付けていくことを目的としています。

尚、本取り組みは、千葉大学との産官学連携の一環として、プログラムがお子様にとって効果があったか、楽しく学べたかなど、データをとって効果検証を行います。個人を特定することはありませんが、効果の分析結果を今後国内外の論文で発表する可能性がございます。

保護者の皆様には、プログラムやアセスメントの参加にご協力をいただくと幸いです。ご協力が難しい場合や、ご不明な点がある場合は、お気軽にお問い合わせください。